

どんな子みっけ!

子どもたちは夏休みにむけて・・・
「おばあちゃん家に行って、お祭りに行くよ!」「家族でお泊りしに行くんだ!」etc・・・ウキウキした声に期待が膨らんでいるのを感じています。

さてさてお母さんはいかがでしょう?
“お昼ご飯も作らなきゃいけないわ～外は熱いし、でも家だけではもたないし・・・どう過ごそうかしら”とちょっぴり心配を抱えている方もいらっしゃるかもしれませんね。

4月から、それぞれのお子さんが、
“できるようになったこと”や“お友だちと仲良く遊べるようになったこと”“何かに挑戦したり、頑張ろうとする気持ちももてるようになったこと”などなど・・・沢山の成長が見られました。でもそれは、幼稚園という集団に入ったからだけではありません。



お家の方をビックリさせたくて、頑張ってみたり～。応援を力にして、勇気を出してみたり～。それぞれのご家庭で安心して過ごせる温かな居場所があったからこそその成長。“元気の源”は、何と言ってもご家庭なのです!!

そこで夏休みは、お子さんの得意なこと・苦手なこと・お家の方がもう少し頑張してほしいことetc・・・親子で取り組んでみませんか?

幼稚園時代の子どもは・・・“ちょっと見たことがある!”とか“僕のお兄ちゃんがやってた!”というだけでも、“自分がやった気になっちゃう!”ととても素直で純粋な年頃です。ですから、大人のちょっとした関わり方で、やる気や自信がぐ～んとアップするんです。

たとえば・・・幼稚園では当たり前に行っている、園服をたたむことや、靴を揃えることなど、「お手伝いさんしてくれない?」と頼りにしたり時には任せてみたり～。“はさみが上手に使えないわ～”というお子さんには「お母さんとチョコキチョコキお店屋さん♪」と誘って、チラシのお野菜や果物・オモチャの写真を切り取って遊んだり～。



とにかく、「やりなさい!」ではなく、一緒に楽しむことがいい!その時間を共有し合うのがいい!上手にできなくても、お母さんと一緒に体験したことが、自信になって前向きなやる気になって行きます。何でも体験することで、子どもたちはいろいろな思いを巡らせて味わうもの。この体験が、夏期保育・2学期への意欲につながっていくことも間違いなし!です。

あまり肩ひじを張り過ぎずにお子さん
と楽しんで・・・

穴川花園幼稚園のおやおや相談室サロンや、おやこシアターもぜひご利用下さいね!お待ちしております。

こんな

「こんな」は、ようちえんで起こる
こんなとき・こんなこと・こ～んなにを
折々お届けします。

みんなでプール

屋上でのプール遊び。坂本先生がお水が冷たくないようと、早めにお水を張って、お日さまの下で温めておいてくれました。

お水が苦手な子や、“初めて”のことはちょっぴり戸惑いもあるもの。

そこで・・・準備体操から、おさかなになりきったり、まずはお手てをそ～つと入れて、おさかな探しをしたり、そのうちに「体をきれいに洗いませよ!」とお風呂ごっこが始まると「キャッキャッ!」言いながら、体操の先生のお顔まで洗ってあげて楽しみだしました。

こんな風に、日常生活の中で何気なくしていることを取り入れてみると、知らず知らずのうちに楽しめるんですね。

年少組



お水遊びだ～いすき!
ビーチサンダルを持ってきてから・・・履きたくって、毎日お空とにらめっこしていた年少組。



みんなともだち!

年中組

園庭の隅々で何やらごそごそ・・・ダンゴ虫やワラジ虫・クモやアリ・・・



子どもたちにかかると、あっという間におままごとカップに30～50匹と集まってしまう。沢山集めることに闘志!?!を燃やしている子どもたちですが、観察ケースに入れてみることで、興味や思いが広がっていくといいな～と願い、お部屋に連れてきてみました。

「好きな食べ物はなにかな?」「仲間がいないとかわいそうだね」「枝とか石を入れたら、アスレチックになって楽しいね」と、飼い方を調べたり、お家から食べ物を持ってきたりして、親しみが膨らんだようです。

そして・・・カナヘビのヨッシーは、ハエやとびグモが大好物。先生たちは素手で、捕まえられるようになりました!



カタツムリの“かーた”
ダンゴ虫の“よっぴー”
カナヘビの“ヨッシー”
名前をつけてなかよし度アップ!毎日お世話をしています。

こ～んな子みっけ!



園庭のやまももを食べて・・・



実習生とダンスパーティー。
あながわの...A-girls&A-XILEの誕生!



年長組

音どろぼう!?

遊びの中や年長会議中など、みんなで一緒に活動していると、合言葉のように顔を見合わせて「楽しいね～」と言っていた年長組。これがきっかけとなり♪たのしいね♪の曲を演奏することになったのだそう。

この曲を弾いていたら、あちこちからお客さんが集まってきて思わず“チャチャチャって手を叩いてくれた!楽しそうだった!”不思議なチカラがあるようです。



そんなある日・・・この曲の続きが盗まれました。取り返す方法はただ一つ。“みんなでいい音を奏でよう!”音を!心を!揃えて一生懸命演奏しました。

すると・・・お掃除中のお姉さん(?)が、落とし物を届けてくれたんです。「どろぼうが返してくれたのかな?」と子どもたち。こうして取り戻した曲の続きを、自由遊び中も練習する年長組です。

こんな風に、ドキドキワクワクを活動の中に盛り込みつつ、ちょっと難しいことに挑む=更なるやる気がでちゃう!

5歳児ならではの特征なんですよ。



今年も運動会のパレードに向けて、活動が始まりました。どの子も無理なく楽しめるように・・・と早めの作戦です。